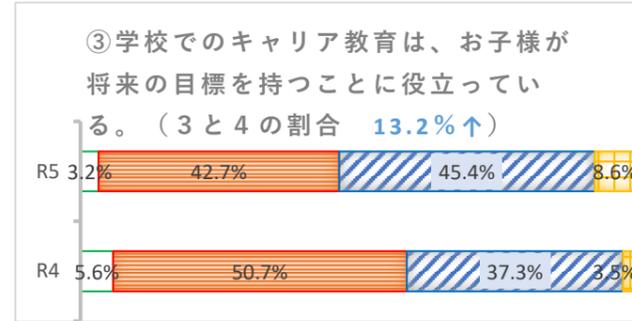
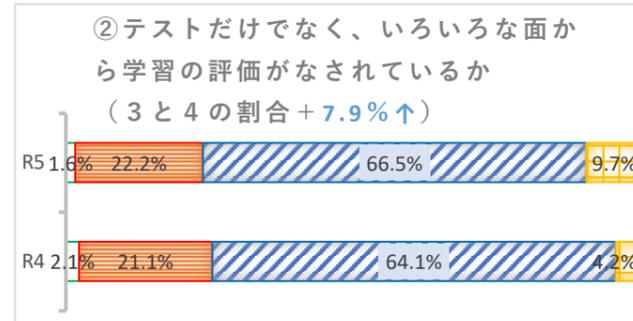
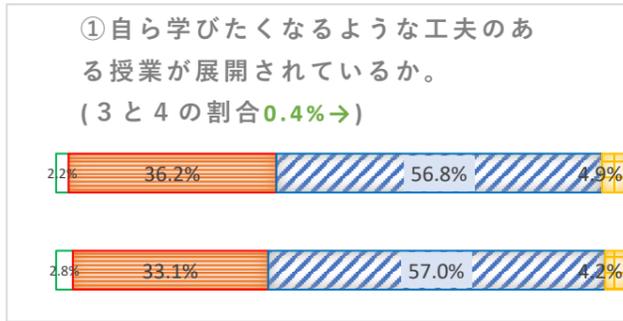


1 「自ら考え正しく判断できる生徒」を育てるための「『学び』のプロジェクト」

■ 出来ていない  
■ あまり出来ていない  
■ 大体できている  
■ よく出来ている

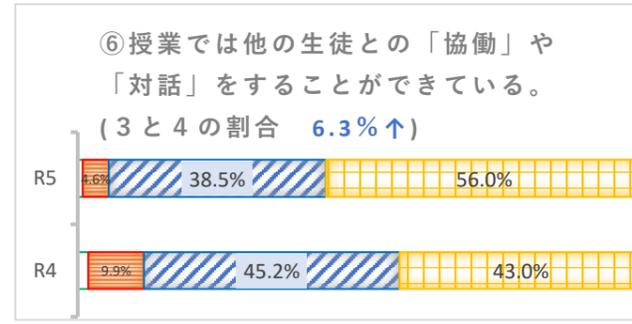
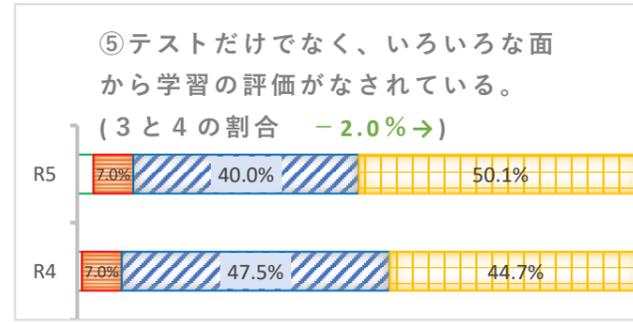
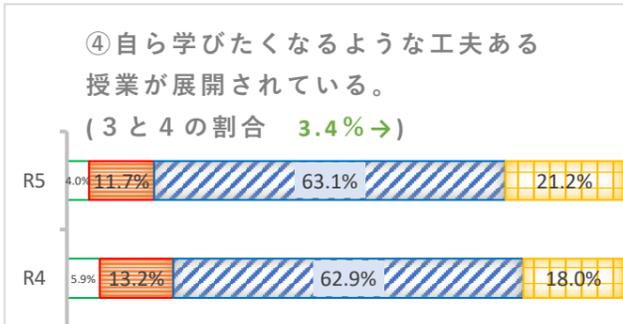
保護者



・保護者評価②において、「いろいろな面から学習の評価がなされている」が向上している。教職員評価③の「教科部会は充実している」についても向上していることから、生徒評価⑤も向上するよう生徒にもわかりやすい評価に取り組んでいく。

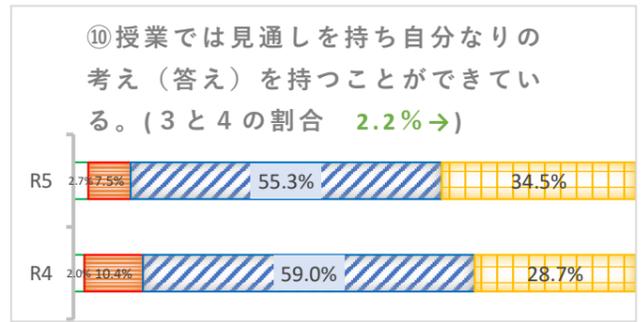
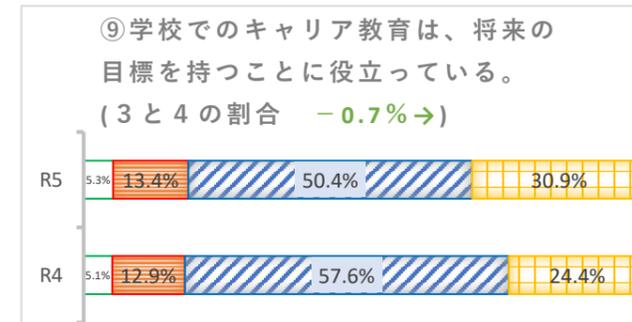
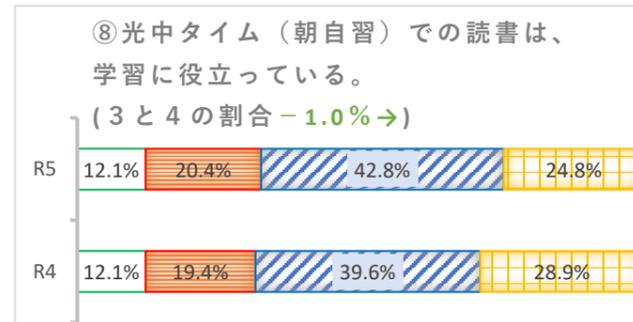
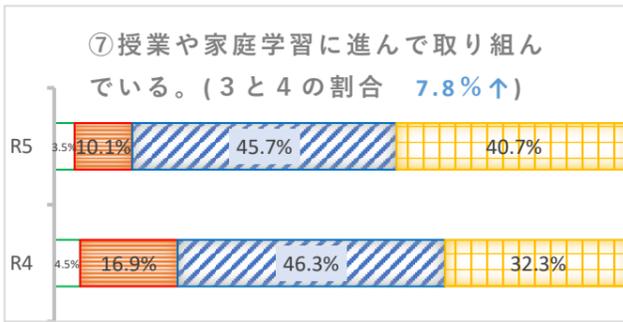
・保護者評価③において、「キャリア教育は将来の目標をもつことに役立っている」が向上している。コロナ禍よりも、講師を招聘しての講演会が実施されるようになったこともあるが、保護者の肯定的な意見や教職員評価④が向上するよう、学校全体として計画的に実施ができるよう取り組んでいく。

生徒

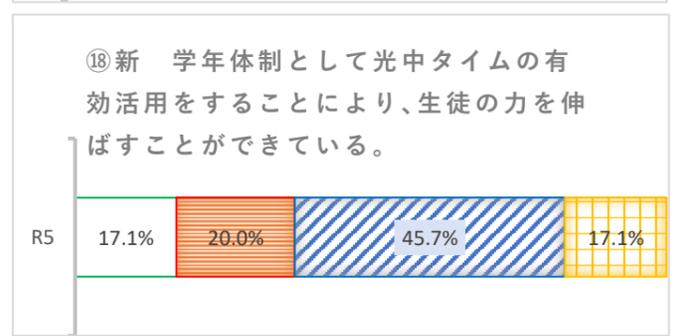
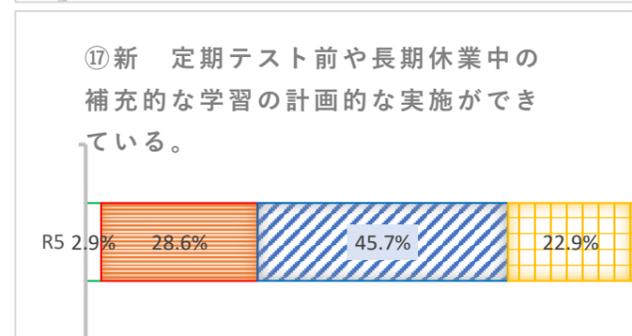
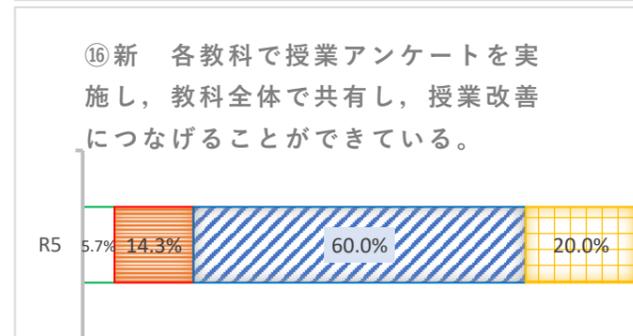
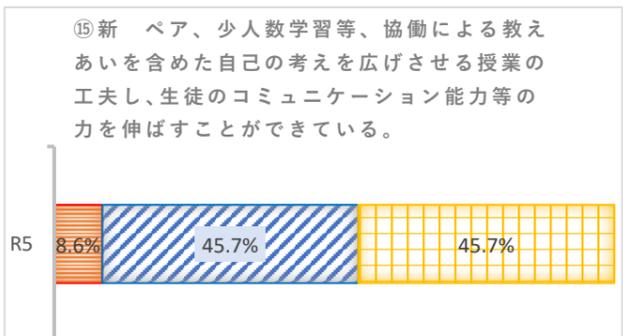
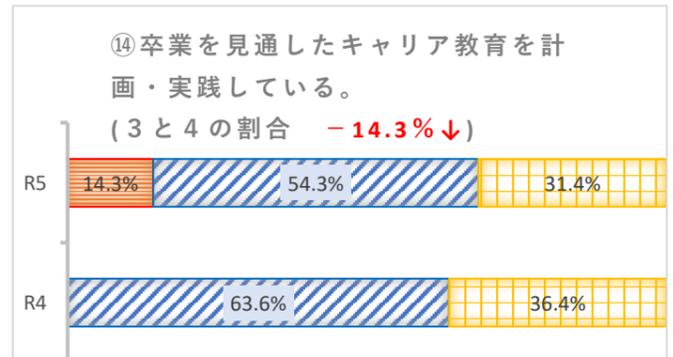
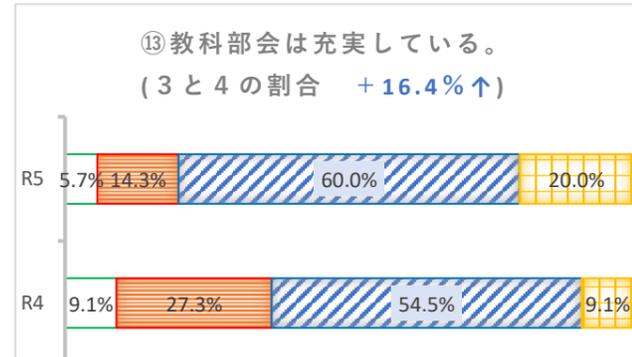
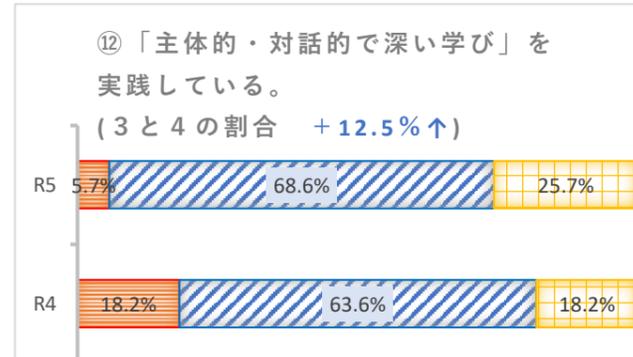
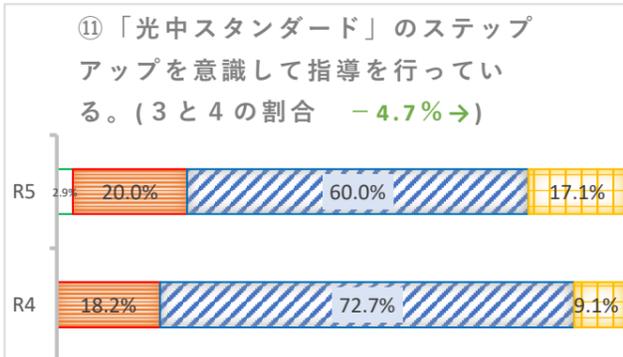


・生徒評価⑥において、「授業では、協働や対話をすることができている」が向上している。教職員評価⑫における「主体的・対話的で深い学びを実践している」の向上も見られ、継続して授業改善に取り組んでいく。

・教職員評価⑰「補充的な学習計画の実施」教職員評価⑱「光中タイムの有効活用」については、今年度の学習成績2期制開始したこともあり、今後重点的に取り組んでいく課題の1つである。



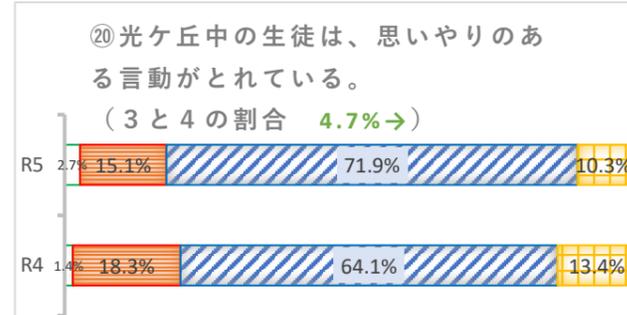
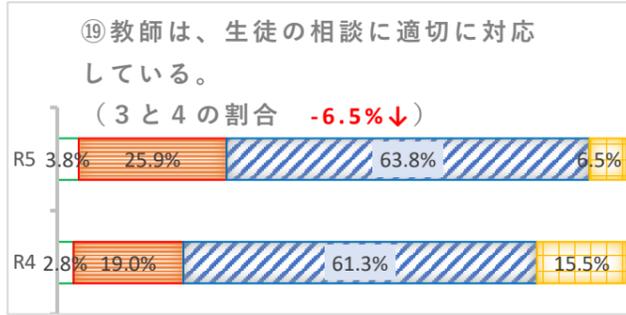
教職員



2 「心豊かで思いやりのある生徒」を育てるための「『心』プロジェクト」

□ 出来ていない    ■ あまり出来ていない  
 ■ 大体できている    ■ よく出来ている

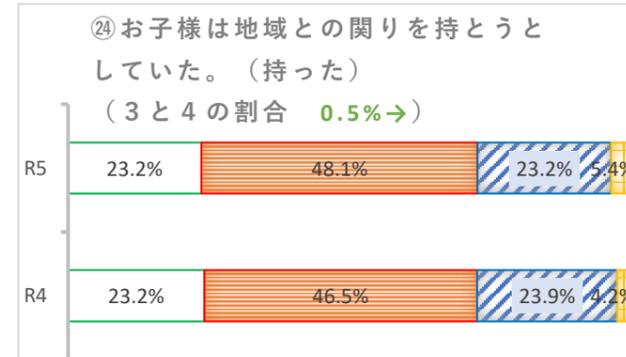
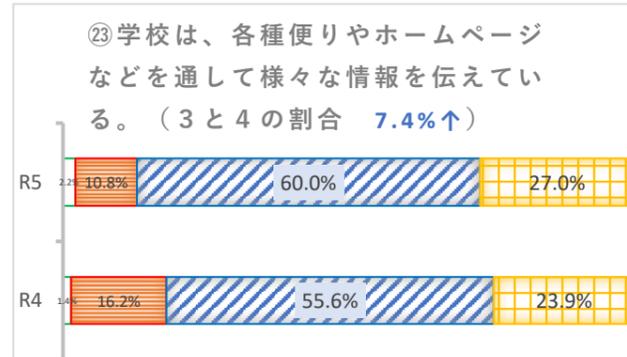
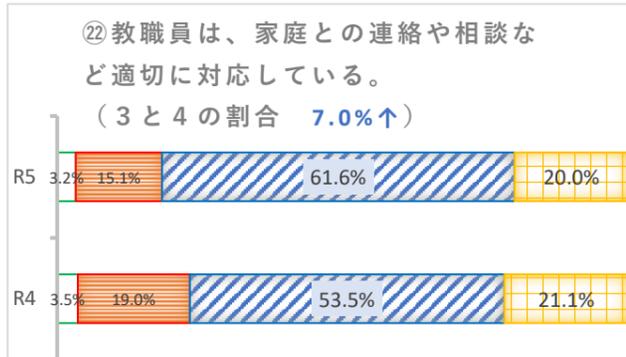
保護者



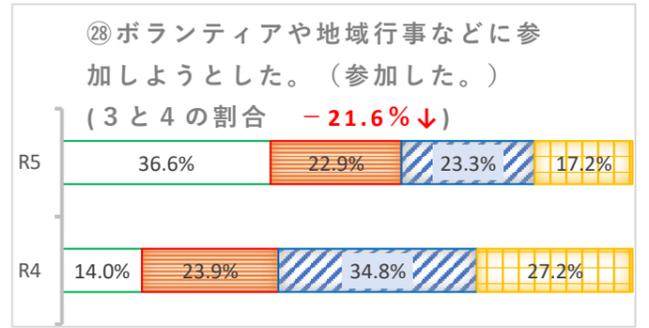
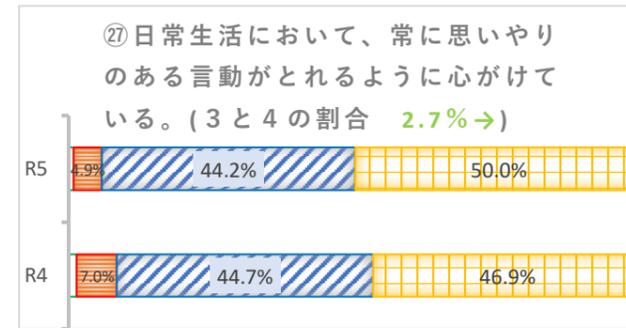
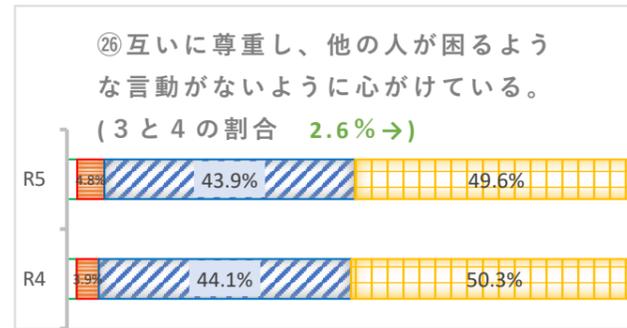
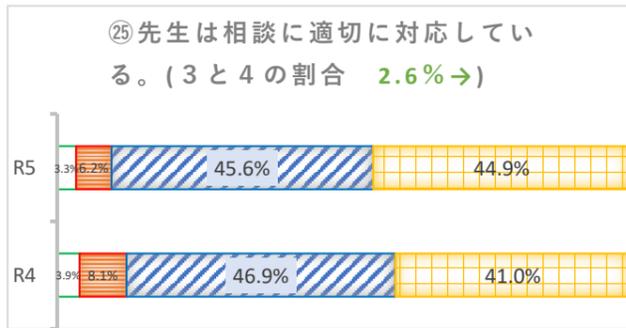
・保護者評価⑱において、「家庭との連絡・相談」は向上している一方で、保護者評価⑲「生徒の相談に適切に対応している」が低下している。生徒との相談により丁寧に取り組み、その内容を共有するように努めていく。

・生徒評価㉑において、「ボランティアや地域行事などに参加しようとした」が大きく低下している。昨年から「コロナ禍において感染症対策をしながら」という表現を抜いた事も一因であるが、クリスマスカード作りなど地域のために取り組んでいることの意識付けをしていく。

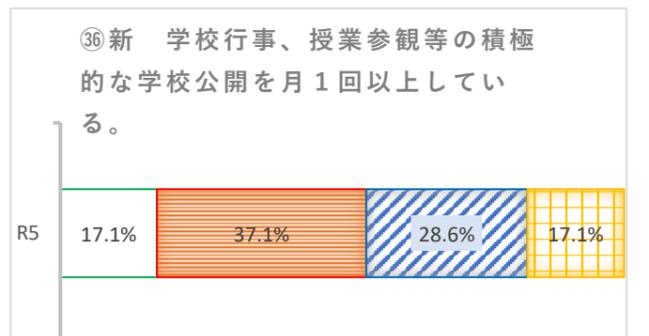
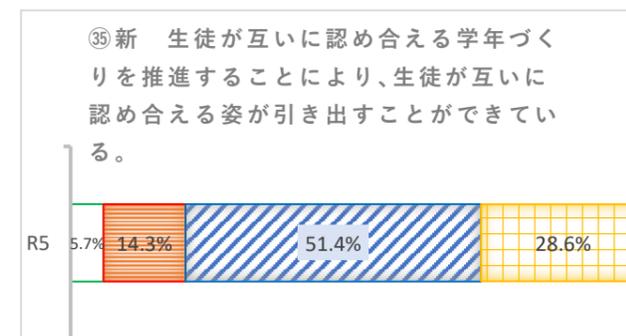
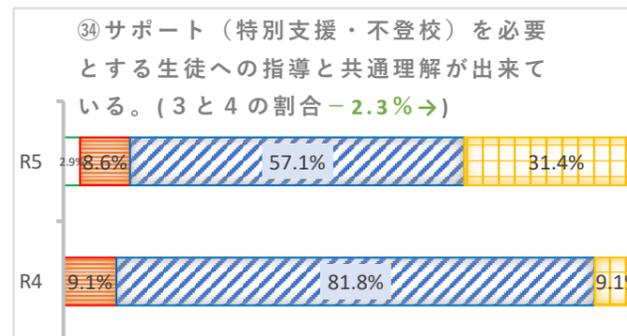
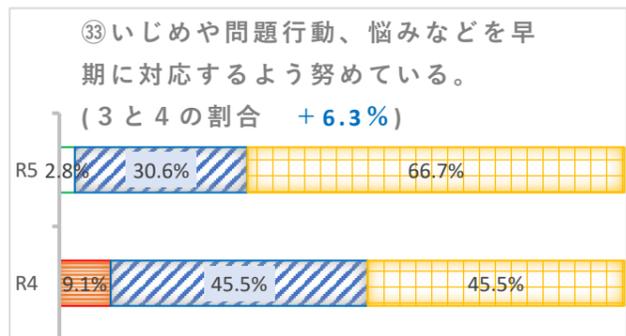
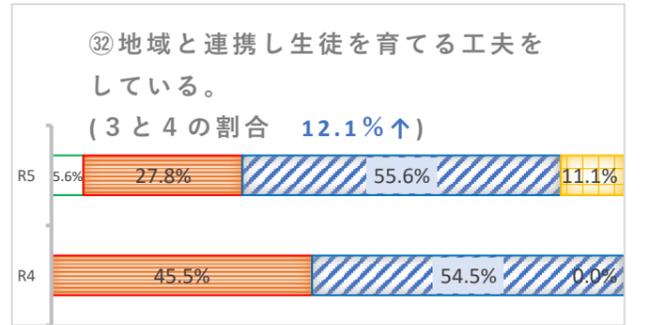
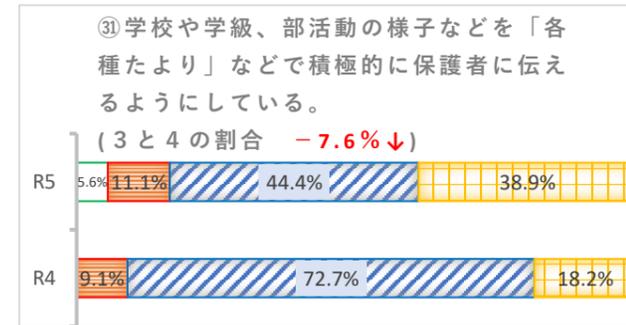
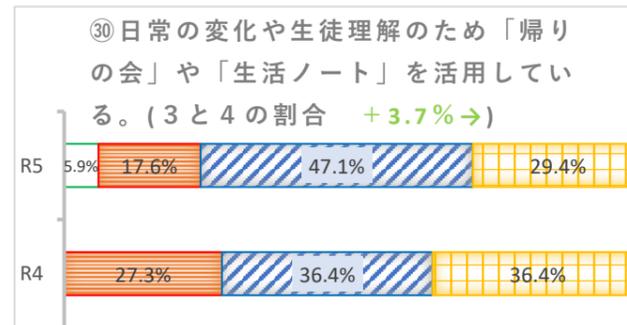
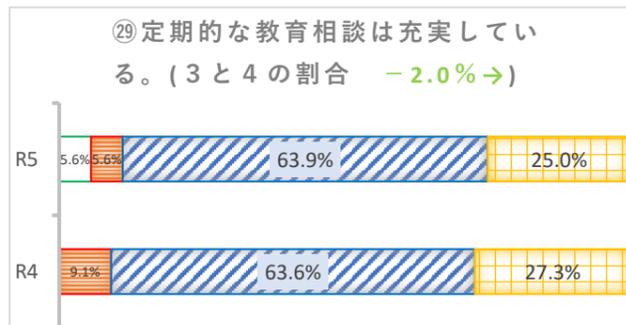
・保護者評価㉑と教職員評価③から、生徒の学校での様子を、HPや学校便り、授業公開など、生徒の取り組みの様子が見える機会を増やす事に取り組んでいく。



生徒



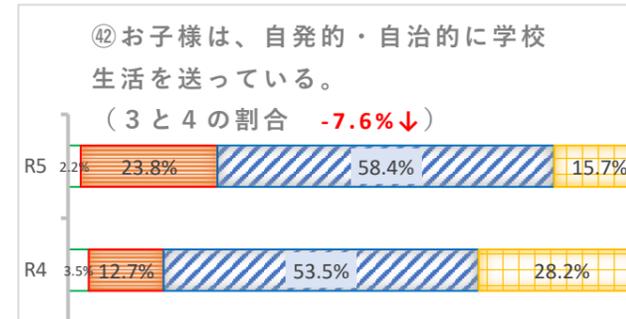
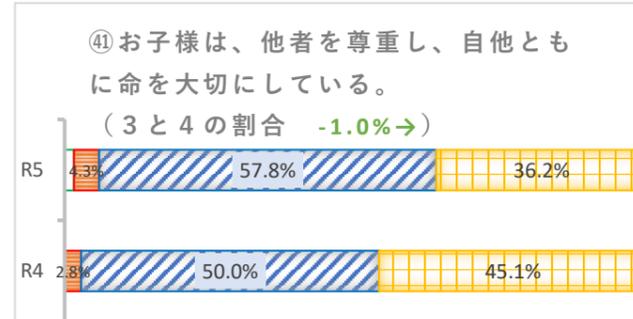
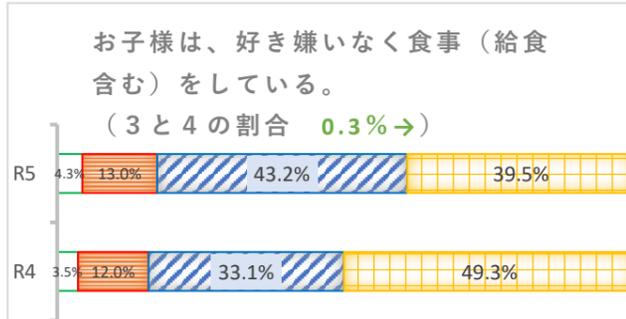
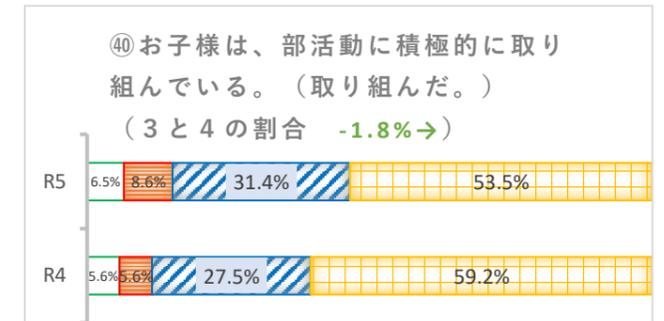
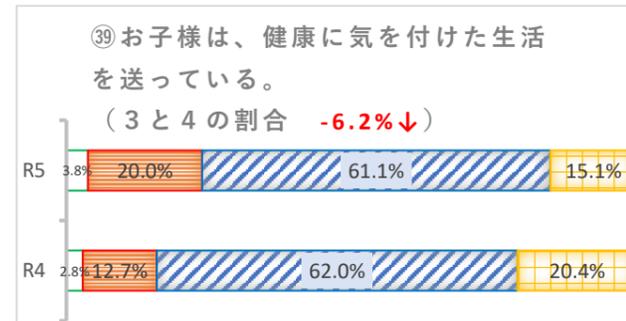
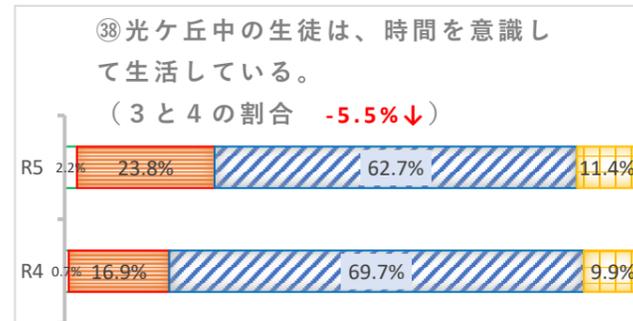
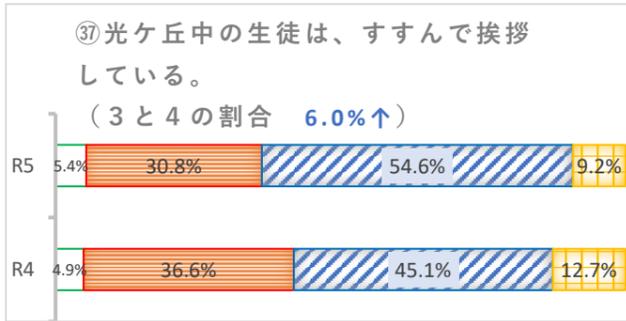
教職員



3 「心身ともに健康な生活」を育てるための「『体』プロジェクト」

□ 出来ていない  
■ 大体できている  
■ あまり出来ていない  
■ よく出来ている

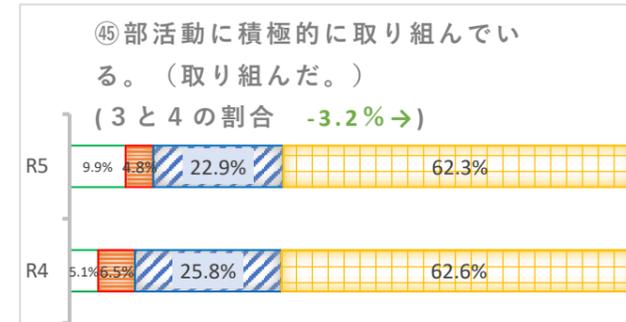
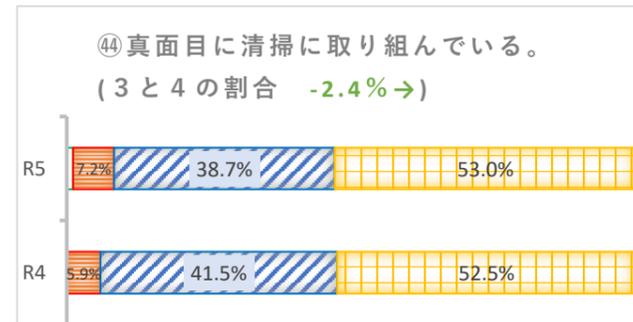
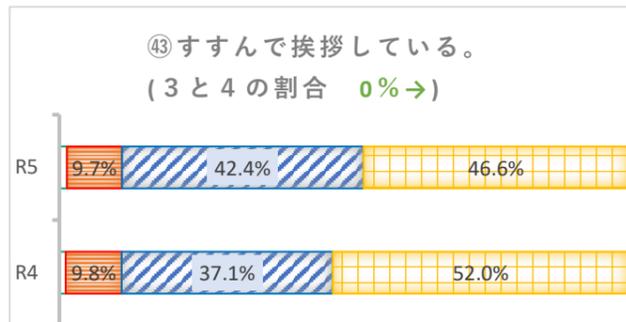
保護者



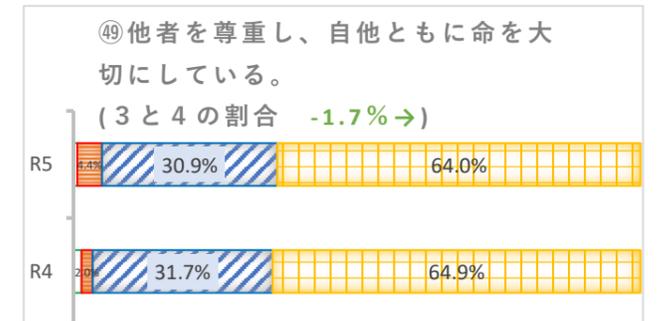
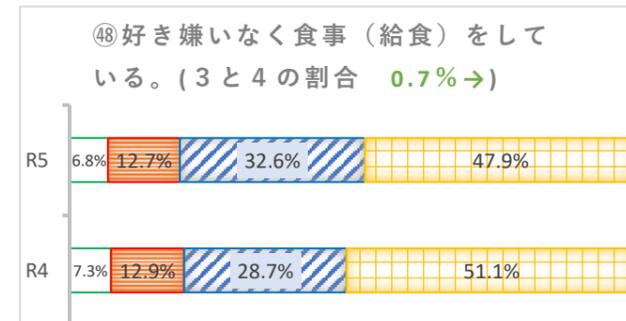
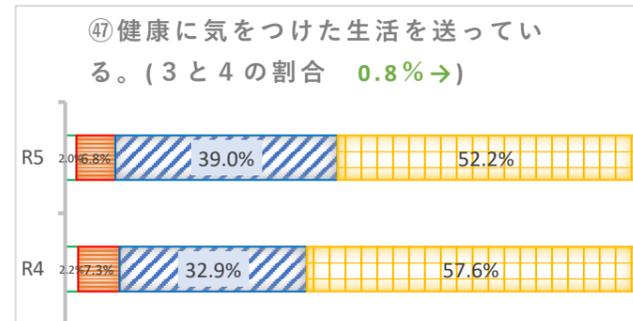
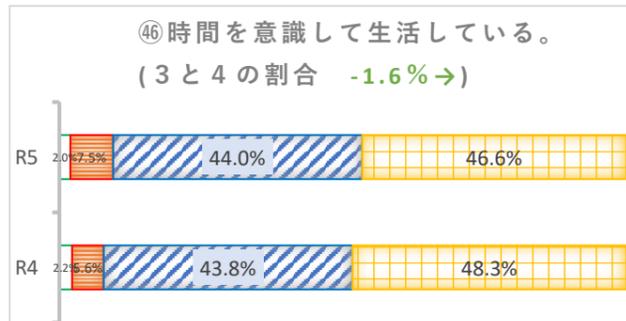
・教職員評価⑤⑩において、「自立的活動をさせている」にあてはまるの回答が前年度より大きく向上している。一方で、保護者評価④⑫では低下がみられます。授業や学校行事の取り組みにより、生徒の成長した姿を伝えていく。

・学校の三本柱である挨拶・時間・清掃については、保護者評価・生徒評価・教職員評価でズレが生じている。学校として、どのような姿を出来ていると判断するのか、ゴールを明確に伝えていく。

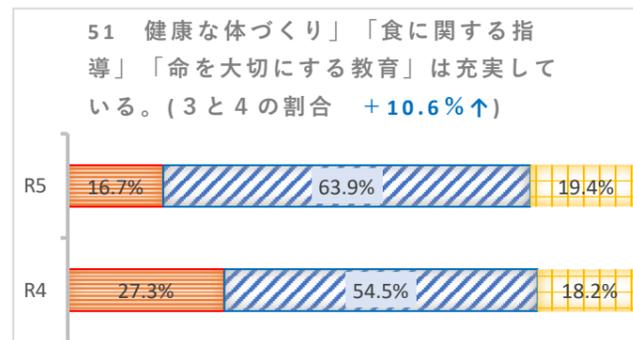
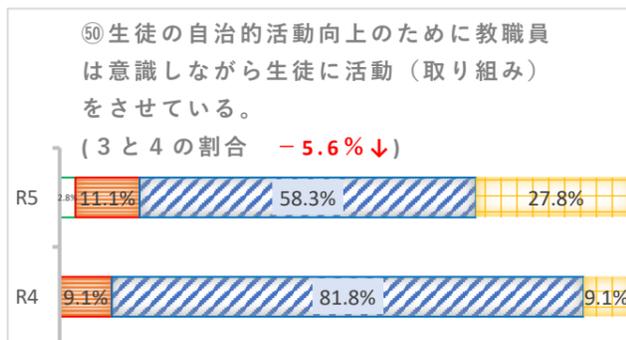
生徒



・教職員評価51における『「健康な体づくり」「食に関する指導」「命を大切にする教育」は充実している』は向上しており、食育を意識した授業づくりや講演会の計画・実施できたことが挙げられ、次年度以降も継続できるよう教育課程に組み込んでいく。

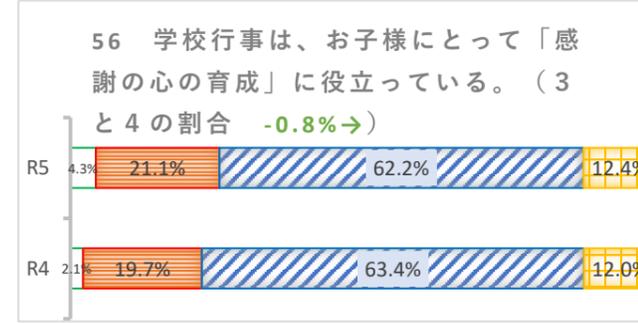
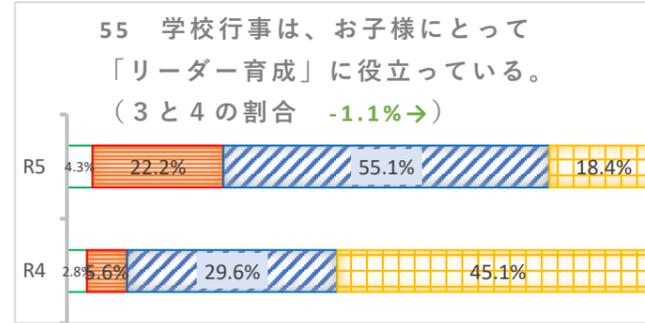


教職員



4 行事を通して【仲間作り】【リーダー育成】【感謝の心】を育てる。

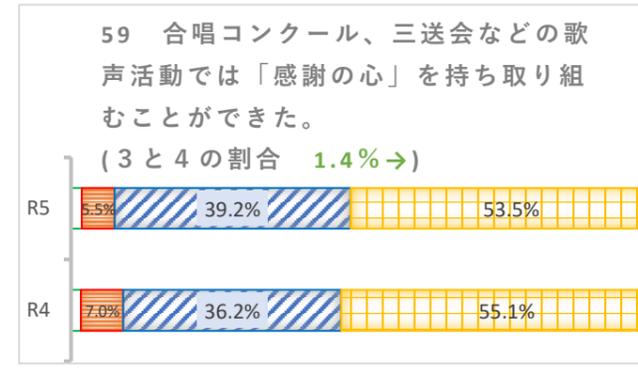
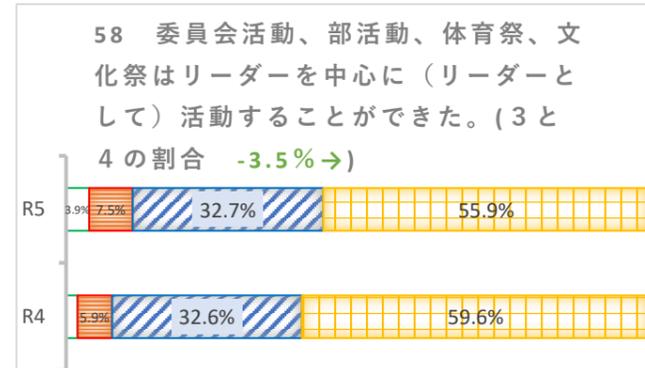
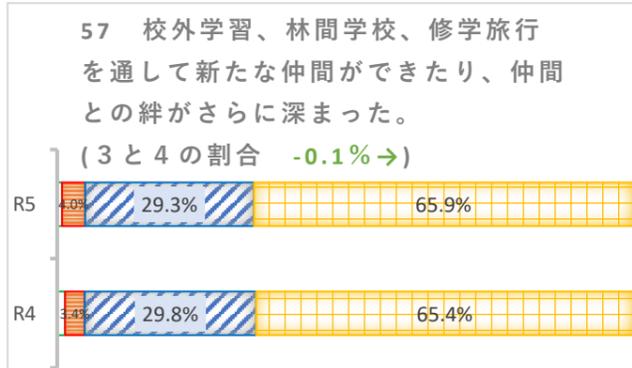
保護者



・教職員評価61において、『生徒会活動では「リーダー育成」を図ることができた。』のあてはまるの回答が向上している。一方で、保護者評価55の『学校行事は、お子様にとって「リーダー育成」に役立っている。』のよく出来ているの回答が低下している。リーダー育成の過程やどのようなリーダーの姿になったのかを伝えていく。

・教職員評価62において、『歌声活動(新入生歓迎会、三送会、合唱コンクール)では「感謝の心の育成」を図ることができた。』が低下している。コロナ禍と比べ、歌声活動が増加しており、より良い活動計画を立て、感謝の心を育む歌声活動を作っていく。

生徒



教職員

